



どうなるの？

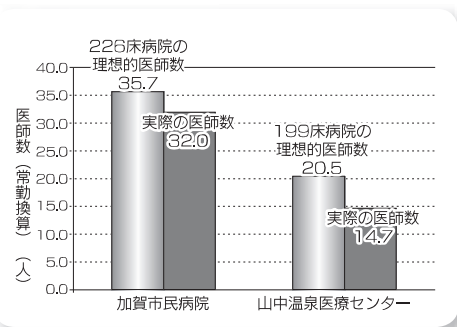
加賀市の医療

医師不足

医師不足のために

患者を受け入れられない

市内では年間約2、500〜2、900人が救急搬送されます。そのうち市外へ搬送される患者は、平成21年では32・3%、平成22年では24・



理想的医師数：黒字自治体病院の職種別平均職員数（医師）より算出（平成22年病院経営実態調査より）
 実際の医師数：平成23年4月1日現在

なぜ医師不足になったのか？
 市民病院や山中温泉医療センターなどの公的病院は、大学病院の関連病院として、大学病院から所属医師を派遣してもらい、医師を確保してきました。しかし、平成16年度に臨床研修制度が始まり、新人医師が自由に研修先を選べるようになると、大学に残って研修を受ける医師数が減少しました。そのため、大学から地方の関連病院へ派遣できる医師数も少なくなりました。

7%。しかし、そのうち約7〜8割の人は軽症や中等症の患者です。本来、軽症や中等症の患者は2つの市立病院で受け入れることが望ましいのですが、医師不足などのために十分に受け入れできていないのが現状です。

調査検討委員会

地域医療審議会の答申どおり「統合すべき」との方向

大学教授や加賀市医師会長、2つの市立病院長など医療の専門家で構成する調査検討委員会では、次のような方向で検討が進められています。

- ・地域医療審議会の答申どおり病院を統合すべき。
- ・2次救急を市内で完結できる体制を目指すべき。
- ・医師が働きやすい環境を整えることで、適用症例も拡大し、市内で対応できる患者層が広がる。
- ・医療スタッフのモチベーションが失われないような施設・組織とすべき。
- ・統合新病院の建設地は加賀温泉駅周辺が望ましい。
- ・病床数は300〜350床が適当。

地域医療審議会ではすでに結論が出ている

- ・医療関係者や市議会議員、市民の代表で構成する加賀市地域医療審議会からは、平成18年度と20年度に次のような答申が出されています。
- ・新病院を建設する以外に、根本的な問題解決の方法はない。
- ・2つの病院を統合した方が良いというのであれば、大学病院もその方向に協力する。
- ・遅かれ早かれ集約する必要が出てくる。

市の2つの市立病院（加賀市民病院・山中温泉医療センター）で、救急をはじめとする医療提供体制や医師不足が課題となっていることは、これまでにもお伝えしてきました。今回は、今年2月に設置した「加賀市医療提供体制調査検討委員会」の検討状況、7月〜8月に開催された「市民意見交換会」で出された意見などをまとめてお知らせします。

☎医療提供体制検討室 072-7822

医師の過酷な勤務実態

このままでは医師不足が進行

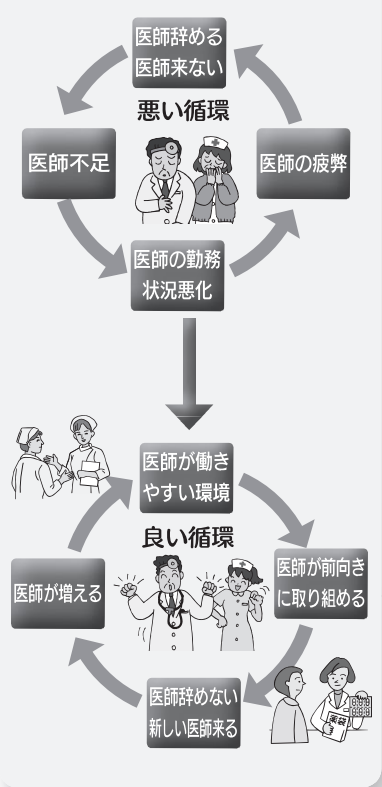
平成21年と22年を比べると市外搬送の割合が減っています。これは、医師や看護師が夜間や休日に過酷な勤務をこなして対応したためです。

現在もこのような対応を続けていますが、このままでは医師自身が体調を崩してしまう可能性もあります。また、若い医師が勤務したいと思わないため、医師不足にますます拍車がかかってしまいます。

医師が集まる病院 処遇・待遇がすべてじゃない

医師不足を解消するには、まず病院（医師にとっての職場）の環境を良くする必要があります。医師が意欲を持ち、安心して働ける環境が

循環を良くすることが 医師確保への第一歩



Q 医師が集まる病院とは？

- 症例が多い (40.4%)
 - 研修プログラムが充実 (32.4%)
 - 地理的条件がよい (31.8%)
 - 病院の施設・設備が充実 (29.0%)
 - 熱心な指導医が在職 (28.0%)
 - 処遇・待遇が充実 (21.8%)
- 臨床研修病院および臨床研修医に対するアンケート結果 (厚生労働省) より



整っていれば、若い医師が希望してくれます。それでは、医師が勤務したいと考える病院とは、どのような病院なのでしょう。左の表を見ると、給与が高ければいいという訳ではないことが分かります。

市民アンケート

平成23年6月実施
対象：市民2,000人
回答数：720人 (回収率：36%)

回答者の56・9%が

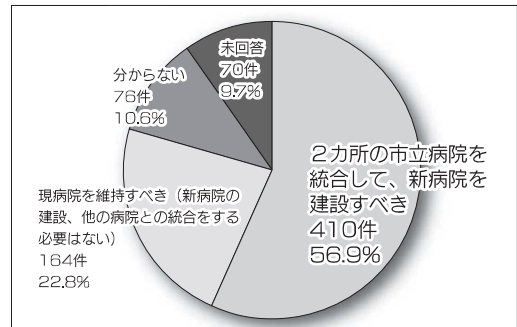
統合新病院建設を望む

本年6月に、市民2,000人を対象に加賀市の医療に対するアンケートを行いました。

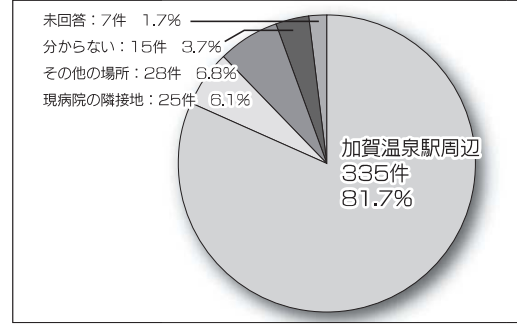
まず、充実してほしい医療サービスについては「24時間対応の救急医療体制」や「高度医療や特殊医療を行う専門医」を望む声が多くありました。

また「今後の病院のあり方についてどのように考えていますか」とい

Q 今後の病院のあり方について どのように考えていますか？



Q 新病院の建設地は どこが適していると考えますか？



統合新病院は

JR 加賀温泉駅周辺に

次に「統合して新病院を建設すべき」と答えた人に「新病院の建設地はどこが適していると考えますか」と質問したところ、81・7%の人が「加賀温泉駅周辺」と答えました。

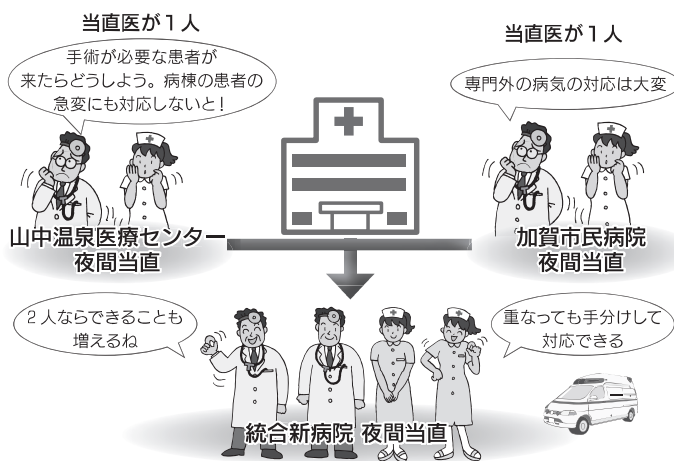
う設問に対しては、回答者の56・9%が「2カ所の市立病院を統合して新病院を建設すべき」と答えました。

統合新病院

「期待される効果とは」

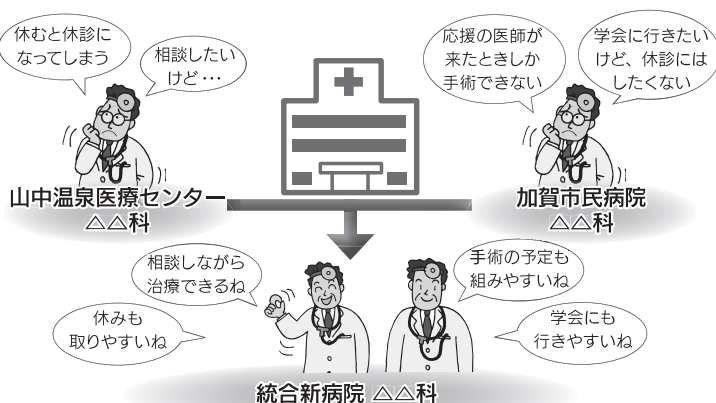
夜間・休日救急体制の充実

複数の医師による当直体制をとることができれば、急患が重なった場合の対応やさまざまな疾病への対応が可能になります。軽症や中等症の救急患者を市外へ搬送しなくて済みます。



1 診療科に複数の医師を配置

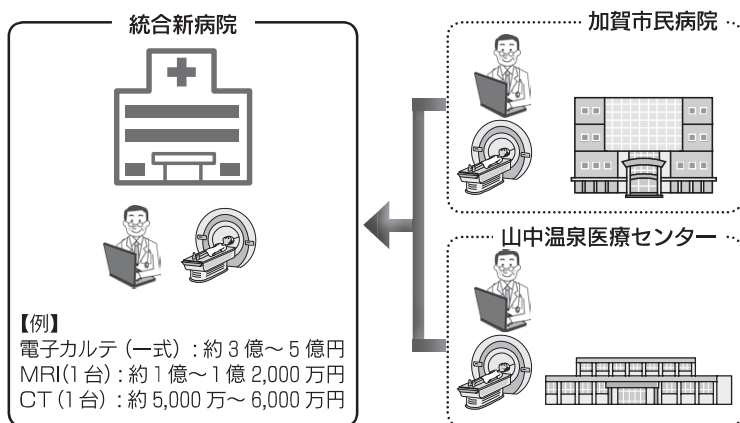
医師が意欲を持ち、安心して働ける環境を整えることが、患者へのより良い医療サービスの提供につながります。



医療機器の更新に係る費用の効率化

2つの病院でそれぞれに購入しなければならなかった高額医療機器を複数購入しなくてもよくなり、費用の削減につながります。

2頁の調査検討委員会の検討状況にあるように、2つの市立病院を統合して新病院を建設することは、市民や医師、病院の施設などにとって、次のような効果が期待されます。



開業は平成28年度をめどに

工事期間や財源となる合併特例債などの有利な地方債の使用期限を考えると、統合新病院の開業は、最遅で平成28年度となります。それまでは、現病院の営業を継続します。

	今後の動き	平成23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
統合新病院	計画・建設						開業
	営業		統合新病院開業まで営業を継続				
現病院 (加賀市民病院・山中温泉医療センター)	医師不足解消の取り組み						新病院へ
	土地・建物の活用方法の検討					
	再活用のための工事など					



2 つの病院を統合すれば、 医師を確保できるのか？

統合すれば、医師や看護師が1カ所に集まり、チームでの医療が可能となります。若い医師は「同じ診療科で複数の医師を配置する体制」や「当直医師を複数置く体制」を望んでいます。

多くの症例を診ることができ、設備も整った病院であれば、若い医師に限らず、中堅やベテランの医師もやりがいを持って働くことができます。経験豊富な医師から若い医師への指導もできるため、若い医師の病院への定着につながります。

将来にわたり、市の財政への 大きな負担になるのでは？

病院は医療収入で運営を行うもので、市税などの一般会計とは別の会計（企

業会計）で運営されています。例えば、約120億円の借金をして350床規模の病院を建てたとしても、その全てを税金で返済するわけではありません。しっかりと医師を確保できれば、病院の診療に係る収入は毎年60億円程度が見込まれるので、その収入から返済して運営していくことが可能です。

公立病院は救急医療など採算性の低い医療サービスを提供する責務があります。そのため、費用の一部は税金で負担することが定められていますが、その金額にはルール（基準）があり、これまでも2つの病院でルールに基づき、税金で負担してきました。新病院を建設した場合でも、市の財政として過大な負担となることはありません。

新 病院を建設した場合、 現病院跡地はどうなるのか？

どちらでも市民全体の重要な財産であるため、すぐに取り壊してそのままにするということはありません。診療所としての活用や、地域振興の観点から医療以外の活用方法も考えられます。新病院を建てるとしても最短で28年度開業の見込みです。それまで十分な検討期間がありますので、市民の皆さんにも意見を伺いながら考えていきます。

市民みんなで病院を守りましょう

加賀市の医療を崩壊させないためには、一人一人の心がけが大切です。

◎自分の健康を守るために

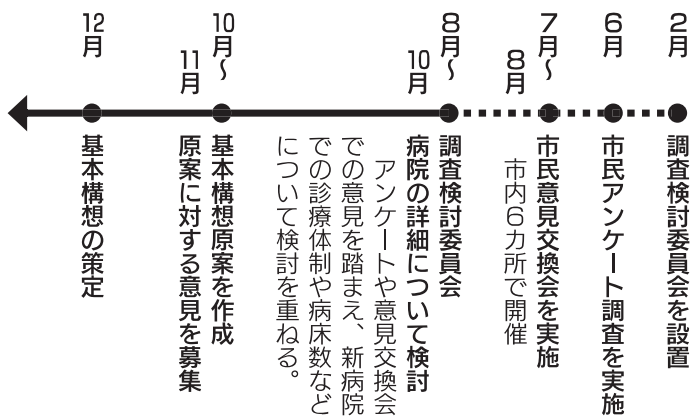
- ・病気になるらず、できるだけ医師の世話にならないようにしましょう。
- ・食事や生活習慣を見直し、定期的に健診を受けましょう。



◎医師が頑張れるように

- ・医師への自己中心的で理不尽な要求はやめましょう。
- ・軽い症状で緊急性もないのに、夜間や休日の救急外来を利用すること（コンビニ受診）はやめましょう。

医療提供体制経過と今後の予定



これまでに開催された調査検討委員会や市民意見交換会の資料は、市ホームページに掲載しています。

また、加賀市の医療体制については、いつでも意見を受け付けています。メール、ファクス、郵送または市役所・支所・出張所窓口へ持参、病院に設置してあるご意見箱への投函などにより、文書でお寄せください。市ホームページ「医療体制ご意見箱」からも投稿できます。

※いただいた意見への個別回答はできません。

加賀市医療提供体制

検索

ご意見の受付先

✉ iryou@city.kaga.lg.jp

☎ 72-7807

郵送先：〒922-8622

加賀市医療提供体制

検討室あて

